

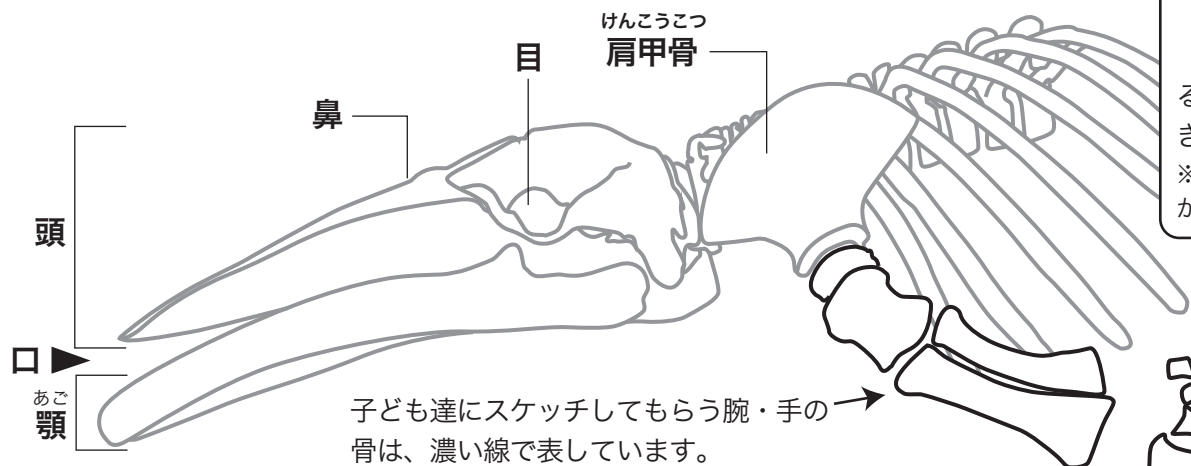
先生の豆知識

ザトウクジラってどんな生き物？

このザトウクジラは瀬戸内海（大阪湾）に漂着したもので、オスで7mの大きさです。年齢は不明です。瀬戸内海には意外に多くのクジラが見つかっています。

ザトウクジラは生まれたとき4m程度で、大人になると11-17mになります。メスのほうが同じ年齢のオスより1mほど大きいです。

オキアミや魚を丸呑みします。仲間のザトウクジラと共同で、泡を使って餌を包囲してから、まとめて飲み込むバブルネットフィーディング（網食餌）も行います。



ザトウクジラの学名

Megaptera (メガプテラ) は腕の長さに由来します。

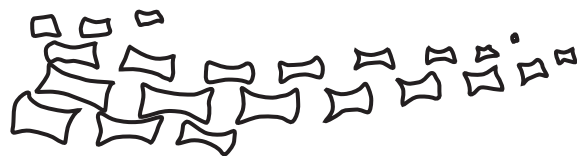
メガ: 大きな プテラ: 翼=長い腕

ヒトの手と比較する

基本的な体の作りは、私たちヒトと同じです。

肩、腕、ヒジ、手首、指と、皆で一緒に確認することで、クジラとヒトが同じ祖先から分かれてきた事を感じる事ができます。

※展示室ではレーザーポインタなどを使うと、離れた場所からでも標本を使って説明できます。

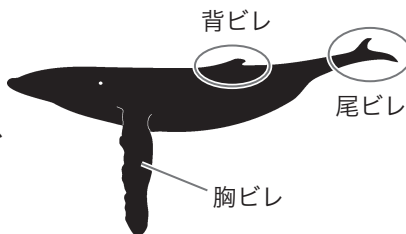


ザトウクジラの手

ザトウクジラはクジラの中でも、とても変わった手をしています。

体長の1/3にもなる巨大な手（胸ビレ）を使って、ザトウクジラは泳ぎます。泳ぐスピードや向き、体を回転させるなど色々使います。多くのクジラは前ヒレではなく、尾びれで泳ぎます。

博物館本館の玄関前にあるナガスクジラの手と比べてみるのも面白いです。



これも伝えたい

ザトウクジラは歯の代わりにヒゲが生えているクジラです。骨格標本ではみられませんが、ヒゲ（濾過器官）が頭と下アゴの間に生えていました。また尾びれ、背びれがありました。

クジラの後ろ足は極端に小さくなっています。腰（骨盤）を見る事ができます。